

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 河南 嘉彦 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	--------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約9.5億円 (うち用地補償費 7.5億円)
		(一)志染土山線 県単独事業	加古郡稲美町岡 L = 3 9 0 m		

所在地	着工予定年度	完成予定年度
加古郡稲美町岡～六分一	H 1 5 年度	H 2 1 年度

事業目的	事業内容等
<p>県道志染土山線と県道平荘大久保線が交差する岡交差点は、県道及び町道の4路線が集中する地域内交通の重要な要衝であるが、日交通量が多く右折レーンがないため日常慢性的な交通渋滞が生じている。</p> <p>また、車道も一部未改良で歩道も未整備であることから、交通安全上も危険な箇所となっている。</p> <p>これらを解消するため、岡交差点の改良を中心に道路整備を行い、安全で円滑な交通を確保する。</p>	<p>交差点改良</p> <p>志染土山線 延長：390m (平荘大久保線 延長：160m) (六分一神出線 延長：100m)</p> <p>現況幅員：5.0(5.7)m 計画幅員：2車線+両側歩道 6.0(12.0)m</p> <p>現況交通量：14,840台/日 計画交通量：15,000台/日</p>

評価視点	評価内容
<p>(1)必要性</p> <p>交通渋滞の解消</p> <p>安全・安心を確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度に実施した交差点総点検調査において渋滞交差点として位置づけられ、今年度実施の渋滞実態調査においても最大渋滞長が450mという渋滞が著しい交差点であり、右折レーンが未設置の上、歩行者、自転車、自動車の混在通行で走行速度が低下し、慢性的に交通渋滞が発生しているが、本事業により渋滞解消が図られる。 ・交差点改良及び本線未改良部の改良、歩道整備等により、過去3年間で人身25件の事故が発生している危険箇所が解消される。
<p>(2)有効性・効率性</p> <p>有効性</p> <p>代替性</p> <p>効率性 (事業執行環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の交通渋滞の解消が図られるとともに交通事故減少に寄与する。 ・都市計画道路として、都市計画決定されており、これにあわせた現道拡幅が最適である。 ・稲美町及び地元自治会から渋滞解消等を強く望まれ、一部地権者からは用地買収の請求を受けるなど地元熟度も高まっており、円滑な事業執行に向け協力体制にある。
<p>(3)環境適合性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞解消により沿道及び周辺地域の大气環境の改善に資する。 ・低騒音舗装を実施することにより、自動車騒音の低減による沿道環境への改善を図る。
<p>(4)優先性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞交差点解消プログラム予定箇所であり、早期に事業着手が必要である。